

令和2年度 事業報告

社会福祉法人富士旭出学園

今年度は、新型コロナウイルス感染症が増加し始めた4月に、国の緊急事態宣言をうけ感染症拡大防止の観点から、23日間において通所事業所の休業という対応を取らせていただきました。さらに、面会や外出の自粛など、利用者や家族の皆さまには長期間にわたりご迷惑をおかけしている状況であります。

このような状況下で、人材の定着に向けた取組みの強化として、職員の感染症対策への負担増やストレスも視野に入れながら、キャリアパス制度の導入やワークライフバランスに配慮した働きやすい職場環境づくりを推進してまいりました。

先行きが見えない不安な1年でありましたが、利用者・職員、その家族の皆さまが一丸となって協力的体制が取れたことは、法人にとって大きな力であったと心から感謝しております。

令和2年度に取組んだ「法人運営」「事業活動」などの概要は次のとおりです。

<法人運営>

1. 理事会開催状況

(1) 第1回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和2年6月3日)

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、社会福祉法第45条の14第9項の準用による一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条及び定款第27条2項の規定に基づき、決議事項を可決する旨の理事会の決議があったとみなし、理事会を開催しなかった。

- ① 令和元年度事業報告及び附属明細書(案)の承認
- ② 令和元年度計算書類及び附属明細書、財産目録(案)の承認
- ③ 定時評議員会の招集(案)について

報告事項 ・社会福祉充実残額について
・理事長職務の執行状況報告
・理事長専決事項

(2) 第2回 令和2年10月29日(木)

- ① 令和2年度第一次補正予算(案)の承認
- ② 富士清心園・法人本部事務所の改築工事について

報告事項 ・コロナウイルス感染症による影響について
・令和元年度決算過年度分修正について
・第三者評価事業について
・個人番号及び特定個人情報取扱規程について

- ・理事長職務の執行状況報告
- ・理事長専決事項

(3) 第3回 令和3年1月15日(金)

- ① 令和元年度第二次補正予算(案)の承認
 - ② 社会福祉充実計画について
- 報告事項
- ・富士宮市指導監査について
 - ・地域生活支援拠点等の機能を担う事業について

(4) 第4回 令和3年3月25日(木)

- ① 令和2年度第三次補正予算(案)の承認
 - ② 令和3年度事業計画(案)の承認
 - ③ 令和3年度当初予算(案)の承認
 - ④ 定款及び諸規程の変更(案)の承認
 - ⑤ 役員等のために締結される保険契約について
 - ⑥ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程について
- 報告事項
- ・理事長職務の執行状況報告
 - ・理事長専決事項
 - ・令和3年度職員人事について

2. 評議員会開催状況

(1) 定時評議員会 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和2年6月23日)

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、社会福祉法第45条の9第10項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条の規定に基づき、当該議案を承認する評議員会の決議があったものとみなし、評議員会を開催しなかった。

- 報告事項
- ・令和元年度事業報告及び附属明細書
 - ・令和2年度事業計画及び当初予算
- ① 令和元年度計算書類及び財産目録(案)の承認

3. 登記事項

令和2年6月24日	資産の総額登記
-----------	---------

4. 届出事項

平成2年5月9日	障害者雇用納付金申告書(調整金受給)	(独)高年齢・障害・求職者支援機構
令和2年6月29日	法人税申告書(納付なし)	富士税務署・静岡県沼津財務事務所
令和3年3月31日	時間外労働休日労働に関する協定届	富士労働基準監督署

5. 指導監査等の状況

富士宮市保健福祉部高齢介護支援課指導総務係 指導監査

令和2年11月12日	社会福祉法第56条第1項によるもの	文書指摘なし・口頭指摘事項あり
------------	-------------------	-----------------

6. 監事監査の実施状況等

令和2年4月15日	監事監査研修会中止→オンライン研修に変更（法人内役員等参加）
令和2年5月20日	決算監査
令和2年10月29日	定期監査

<事業活動>

1. 利用者の立場に立った良質で安全・安心なサービスの提供を実現

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、必要なサービスを提供する体制の構築
 - 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の活用
 - 感染症予防のため外出や面会制限を設ける中、家族とのオンライン面会等を実施
- (2) 土砂災害への対応
 - 大雨による土砂災害警戒レベル3を想定した避難誘導（垂直避難）と土砂流入防止訓練
- (3) サービスの担い手である職員の質の向上に向けた取組み
 - 利用者に寄り添った支援ができていないか自己点検を行う仕組みの構築

2. 人材育成と定着に向けた取組み

- (1) キャリアパス制度に向けた取組み
 - ① キャリアパス基準に基づき人事評価を実施
 - 自己評価、一次評価、二次評価、評価委員会、面接
 - ② 参考評価基準を作成し理想の職員像を明確にした
 - ③ 研修計画を作成
 - 新型コロナウイルス感染症の関係で、オンラインでの参加以外は中止あるいは不参加となり、計画どおりとならなかった
- (2) 処遇改善加算Ⅰの取得に伴い、全職員の処遇向上に取り組んだ
- (3) 採用活動の推進
 - 求職サイト、ホームページを活用し採用募集の訴求を図った

3. 中長期計画の取組

- (1) 令和3年度法人50周年記念に向けた準備
 - 法人本部事務所改築工事について法人50周年記念事業として位置づけ
- (2) 令和4年度富士清心園改築工事に向けた準備

- 富士清心園改築工事設計者選定委員会を設置
書類審査方式により設計者を選定 (株)アルファ設計

4. 地域から信頼される公益的な取組みと情報発信

- (1) ホームページを活用した情報発信
- (2) 苦情・相談の改善策や対応状況の公表による透明性の確保
- (3) 富士明成園第三者評価事業の実施

5. 職員の働きやすい職場環境の実現

- (1) 職場におけるハラスメント防止の法制化に伴い衛生委員会を中心とした取組み
→ 全職員対象とした動画研修とパワーハラスメントアンケートの実施、管理職を中心とした中央労働災害防止協会のオンライン研修の実施
- (2) 職員の健康管理
→ 産業医を中心としたストレスチェック、定期健康診断の二次検査の推進、インフルエンザ予防接種の実施
- (3) 職員の勤務管理と有給休暇取得の推進
→ 勤怠ソフトの導入により勤務管理の一元化を図った
一般事業主行動計画における有給休暇取得率1人当たり平均50%取得目標達成(63%)

6. 新型コロナウイルス感染症による行事等への影響

- (1) 三人行事およびその他行事の縮小と中止
- (2) 旭出グループ関係(東京都・千葉県・静岡県)の行事は全面的に中止
- (3) 実習生の受入れは各学校と相談しながら、感染症対策をした上で可能な範囲で受入
- (4) 複数人となるボランティアの受入れ中止
- (5) 対面式の外部研修が中止となる中、オンライン研修・動画配信研修に移行
- (6) 職員の人間ドックは6月・7月から11月・12月に変更

7. 社会福祉充実計画について

当初、令和4年度に富士清心園改築工事に伴い、併設している法人本部事務所改築工事についても同年に行う計画であったが、令和3年度の創立50周年記念事業として、法人本部事務所を前倒して改築工事を行う事について、社会福祉充実計画の変更となるため令和3年1月15日理事会において審議した。令和2年度の社会福祉充実残額の活用はなかった。

令和2年10月29日	設計者選定委員会
令和2年11月18日	静岡県障害者政策課 相談
令和2年12月1日	富士宮市障がい療育支援課・高齢介護支援課 相談
令和3年1月15日	設計者選定委員会

8. 苦情解決委員会・第三者委員会・虐待防止委員会

令和2年7月22日	第1回苦情解決委員会
令和2年9月24日	第2回苦情解決委員会 第1回第三者委員会・第1回虐待防止委員会
令和2年12月24日	第3回苦情解決委員会
令和3年3月18日	第4回苦情解決委員会 第2回第三者委員会・第2回虐待防止委員会

9. 苦情・相談受付内容

受付日	申出人	内容	対応
令和2年5月9日 (法人)	後見人	預り金管理料が高額なので引下げをしてほしい。	預り金管理料は共有金の取扱いに対して業務内容を規定し、職員の牽制体制を整備した中で設定している為、現状のままようお願いしたいと理解を求めた。
令和2年6月13日 (富士厚生園)	家族	家族へ電話連絡する際の職員の話し方、専門用語がわかりにくいなど注意を受けた。	電話で利用者の状況を説明する際、よりわかりやすく丁寧に、思いやりをもった対応をすること。常に相手のことを考えた支援、接遇をしていくことを確認しあった。
令和2年8月2日 (富士明成園)	利用者	移動してきた同室者から受ける侵害のため、同じ部屋にしないでほしい。	居室変更後、対人関係や安全性等の様子観察を実施している試行期間であった。両者の話を聞き、再度居室の移動を行った。
令和2年12月2日 (富士厚生園)	家族	面会時、治療中であり指から出血している様子と後日報告がなかったことに不信感をもった。	新型コロナウイルスの関係で久しぶりの面会であったのにも関わらず、利用者と家族に対する配慮が欠けていたことを真摯に受止め、家族の思いを踏まえた支援とコミュニケーションを図る姿勢を職員間で共有した。

10. リスクマネジメント委員会（感染症対策委員会）

令和2年4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調不良によるPCR検査実施について情報共有 ・衛生用品の在庫管理について
令和2年6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について ・職員行動記録表と検温チェック表について
令和2年9月7日 ～ 令和2年9月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・富士明成園利用者抗原検査擬陽性判定について ・施設のゾーニングと衛生用品について ・職員の勤務体制の確認 ・富士宮市と協力医療機関との情報共有と連携 <p>※ 抗原検査・PCR検査の結果陰性が判明</p>

令和2年9月16日	・富士宮市障がい療育支援課 「新型コロナウイルス感染症が疑われる利用者が発生した事案の経過報告」提出
令和2年9月24日	・「職員のCOVID-19を疑う状態とその対応について」 基準作成 ・「県外移動届・帰省届」 書類作成

11. 事故報告内容

内 容	富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター あさひで	サニーヒル
怪我（原因不明の受傷含む）	4	8	8	0	0
所在確認（施設内・施設外）	0	0	0	0	0
転倒・転落	14	14	14	0	0
興奮時の怪我	0	1	0	0	0
他害	14	5	1	0	0
破損	4	4	3	2	0
異食	0	0	0	0	0
誤薬・服薬ミス・服薬忘れ	4	6	5	0	0
所持品等の確認ミス	2	0	0	0	0
その他（職員の不注意等含む）	6	2	1	1	0
職員車輛事故	3	2	3	0	1
行政へ報告した件数	1	1	3	0	0

12. 年間行事

	行 事 内 容	
4月1日	辞令交付式 職員全体会議	新任職員採用辞令（各部署主任以上と採用職員のみ） 令和2年度事業計画について 「キャリアパスの導入」について
4月8日	お花見・お花見弁当	施設内で実施
4月20日	旭出グループ新任職員研修会	学校法人旭出学園（東京都練馬区）中止
4月24日	富士旭出学園職員交流会	中止
4月	AED講習会	各施設で防災訓練時に実施
5月18日	天理教富士支部 環境整備	中止
5月30日	創立48周年記念式典	利用者・職員のみで縮小して実施
6月	富士宮市福祉スポーツ大会	中止
6月～7月	安全運転講習会（3回）	各施設でビデオ鑑賞にて実施

7月1日 7月8日	通所利用者胸部レントゲン検査	富士厚生園 10名、富士清心園 8名、あさひで 12名 合計 30名
7月8日 7月9日	新任職員研修会	新任職員 11名参加
7月14日	夜間避難訓練	21:15 富士厚生園出火想定
7月14日～ 7月16日	利用者生活習慣病予防健診	富士厚生園 38名、富士清心園 40名、富士明成園 46名、 サニーヒル 6名 合計 130名
7月30日	第3回子ども参観日	中止
8月4日	職員バス健診	蒲原病院健診車による定期健康診断
8月3日～ 8月8日	ハラスメント研修	各施設で厚生労働省「あかるい職場応援団」パワーハラスメント 動画研修講座受講
8月4日～ 8月29日	ストレスチェック期間	職員のストレス状況について本人が検査項目に応じて検査を実施
8月17日	NPO法人 小江戸大江戸トレニックワールド	富士山山麓一周フットレース 感染症対策の上、中継所として屋外トイレ利用協力
8月24日～ 8月28日	富士旭出作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
8月25日	岳南九州人会 環境整備	富士旭出学園構内 環境整備ボランティア活動 会員の方 16名参加
9月	東部地域成人施設スポーツ交流会	中止
9月1日	総合防災訓練	午前：震度6以上の地震発生を想定し情報伝達訓練、避難誘導訓練 消火訓練、放水訓練、非常食試食、防災設備の点検 午後：新任職員中心に西富士開拓用水取水栓の確認
9月2日～ 9月16日	奇石博物館 招待（宝石探し）	富士清心園 26名、富士明成園 14名、あさひで 15名 職員 21名 合計 76名
9月16日 9月25日	富士明成園第三者評価事業	利用者調査・職員自己評価
9月27日	おもいっきり交流会	中止 施設内で小規模に実施
10月26日	富士旭出ふれあい祭り	中止
11月1日	社会福祉施設防災の日防災訓練	土砂災害を想定した訓練 利用者避難誘導、土砂流入防止出入口封鎖、スカイプによる情報伝達訓練、WEB会議の試行
12月14日～ 12月17日	愛護ギャラリー展	富士明成園作品 銀賞

1月18日	就労激励会	サポートセンターあさひで利用者・OB 中止
1月	富士山本宮浅間大社 節分慰問	中止

13. 合同委員会・合同会議

名 称	開 催 日	構 成 員
園長会	随時	理事長・施設長・事務長
運営協議会	月1回	理事長・施設長・事務長・課長
評価委員会	R3.2.26	理事長・施設長・事務長
衛生委員会	月1回 第4月曜日	産業医・衛生管理者・衛生委員
感染症対策委員会	随時	運営協議会・衛生管理者・看護師他
労務管理コンサルティング	月1回	社会保険労務士・事務長・施設長
予算会議	R2.10.12~10.13 R3.2.24~2.26	統括会計責任者・会計責任者・出納職員
固定資産会議	R3.2.12	統括会計責任者・固定資産管理責任者 会計担当者・事務課長・主査・主任
創立記念祭実行委員会	随時	当番施設実行委員長・各部署実行委員
ふじあさひで編集委員会	4月~5月 随時 7月1日発行	各部署により委員会を構成
給食部全体会議	月1回	施設長・給食部職員・支援部主任・看護師

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で行事等が中止となり委員会の開催も最小限となった。

14. 職員の状況 (R2.4.1～R3.3.31)

施設	勤務形態	採用職員	退職職員	R3.3.31 在職職員	産休・育休 取得者	有給休暇 取得実績
富士厚生園	正規	1	1	34 (相談1)	2	54%
	嘱託	0	0	1	0	63%
	パート	2	1	7	0	61%
富士清心園	正規	1	3	22 (相談1)	0	64%
	嘱託	0	0	2	0	80%
	パート	0	0	2	0	97%
富士明成園	正規	7	8	38 (相談1)	3	64%
	嘱託	0	0	1	0	43%
	パート	0	0	2	0	51%
サポートセンター あさひで	正規	1	1	4	0	60%
	パート	1	1	1	0	100%
グループホーム サニーヒル	正規	0	0	1	0	55%
	パート	0	0	5	0	100%
相談支援事業所 ふじあさひで	正規	0	0	(兼務3)	0	44%
合計	正規	10	13	99 (兼務3)	5	60%
	嘱託	0	0	4	0	66%
	パート	3	2	17	0	78%
総合計		13	15	120	5	63%

※ 嘱託職員は、定年後継続雇用となった職員

(第一種社会福祉事業)

障害者支援施設

(富士厚生園)

利用者が「安心して安全に生活できる」ようにサービスを提供した
そのためには、職員一人一人が健康でなければならず、職員が心身ともに健康に対する意識の高揚を図れるように努めた

1. 施設入所支援

(1) 勤務体制

早番1名(7:00~16:00)

遅番1名(12:00~21:00)

夜勤3名(15:00~24:00 準夜勤・0:00~9:00 深夜勤)

※ 夜勤3名体制で対応するが、利用者の疾病と高齢化が顕著となる利用者が多く、その対応に苦慮した

年度途中より稼働する土曜日の食事介助職員の負担軽減のため、日勤者を1名増員

(2) 利用者与生活支援員の状況

①利用者の状況

入所利用者 現員39名 定員40名

通所利用者 現員12名(契約者数) 定員20名

※ 利用者の定員を意識した経営に努めたが、定員の充足ができなかった

ア) 退所利用者

・入所利用者(84歳:男性)誤嚥性肺炎等で入院、退院の目途立たず退所

・入所利用者(35歳:男性)入所から通所利用へ契約変更

イ) 新規入所利用者

・入所利用者(51歳:女性)

・入所利用者(23歳:男性)

・入所利用者(47歳:男性)通所より入所利用へ契約変更

②生活支援員の状況

利用者2名に対し生活支援員1名を配置した。(人員配置体制加算Ⅱの取得)

→生活支援員27名(運転手2名含む)看護師2名を配置

通所利用者 12 名（契約者数）に対しては、常時 3 名の職員を配置

- ※ 利用者の状況から本来であれば、生活支援員を増員したいが、近年、求人に対して応募がなくその対応に苦慮している

2. 個別支援計画・面会について

利用者とその保護者との面談を下記のとおり実施した

(1) 個別支援計画

- ・ 4～5 月 新型コロナウイルス感染拡大により書面のみを郵送でやり取りした
- ・ 10～11 月 県内利用者の保護者のみ時間短縮を図り実施

(2) 面会

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、外出外泊は基本的に自粛とした
- ・ 利用者本人、保護者の希望により、電話やオンライン面会を実施

3. 健康管理と感染症予防

(1) 個別支援計画に沿ったバイタルチェック（検温、血圧測定等）の実施

(2) 少しの異常でも早期の通院（医療に繋げる）を実施

→誤嚥性肺炎と診断されるケースが増えている

(3) インフルエンザ予防接種を令和 2 年 10 月 29 日に実施

(4) 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス）対策（定期的な換気、手指消毒等）の徹底

- ※ 利用者とその保護者に対して外出・外泊は控えるよう協力依頼し、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスによる利用者の罹患はなかった

- ※ 発熱通院時には、インフルエンザ検査と抗原検査を実施し、陰性であることを確認してから診察となった（発熱外来待機：フジヤマ病院）

- ※ 新型コロナウイルス感染確認のため、2 名の利用者に対し PCR 検査が実施された

(5) 行事の縮小と内容変更を行い、3 密を避ける配慮を行った

(6) 職員の感染症対策徹底

- ・ 職員には出勤退勤時の検温と寮内換気の徹底を図った
- ・ 3 密を考慮し、外部研修を自粛し、オンライン研修、小グループでの内部研修を実施
- ・ 県外移動、県外からの訪問等の自粛依頼

4. 職員の危機意識の高揚（健康・安全管理対策）

(1) ほうれんそう（報告・連絡・相談）の徹底

(2) 整理・整頓・清潔・清掃の習慣（しつけ）を身に着け、施設の環境美化に努めた

(3) 生活習慣に留意し体調不良の場合は、早期に通院し健康管理に努めた

- ※ 職員検診にて異常があれば、かかりつけ医等に必ず受診しその結果を上司に報告を徹底した。衛生委員、看護師を中心にして健康管理に対する意識を高めた

(4) 職員とその家族から、体調不良の要因を施設に持ち込まないように徹底した

- (5) 衛生委員を推進役とし、朝の打ち合わせ終了後に「体操・ストレッチ」を取入れ、転倒腰痛予防対策を行った
- (6) ストレスチェックの実施とその結果を産業医に報告し、意見を求めた
- (7) 安全運転に心掛け、信号機のない交差点では、2段階停止をとしての通過に努めた
- (8) 感染症対策として、職員の勤務場所の固定を今後も継続して検討

5. サービス提供者としての資質向上

- (1) サービス提供者としての自覚（接遇する姿勢）を持つ
- (2) ゆとりある支援に努める
- (3) 内部研修の実践と外部研修への積極的な参加
 - ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる研修も多く、オンライン研修への対応を行う
- (4) 職員一人ひとりが事業所（施設）に愛着を持てるよう「帰属意識」を養う

6. 施設整備

- (1) 屋外防犯カメラの設置
- (2) 食堂兼談話室に掲示板を設置し、利用者への情報提供に努めた
- (3) 静岡県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を利用し、空気清浄機その他、備品の整備を行った
- (4) 勤怠ソフトを導入し勤怠管理の省力化を図った

(富士清心園)

1. 施設支援

- (1) 勤務体制
 - ・夜勤職員2名体制を継続
 - ・生活介護（人員配置体制加算Ⅲの取得）
 - 利用者の高齢化、重度化に対応するため、利用者2.5人に対し職員を1人配置し、緊急時にも速やかに対応できる体制を継続した
- (2) 日中活動の取組み
 - ・寮外活動グループ
 - 園芸活動を通じ、作る喜び、食べる喜びを利用者に体験させることができた。また、よもぎ活動については静岡県畜産技術研究所の敷地にて5回収穫を行い、よもぎ入浴剤として朝霧高原道の駅にて販売し、その収益で種苗・利用者おやつを購入した。
 - 野菜作りについて、鳥獣被害により収穫が減少しているが、利用者が十分楽しめる量の収穫があるため、防獣ネット程度の予防をし、活動を継続した。

日課の関係で、全利用者が一緒に活動時間を確保することが難しくなっているが、小グループでの活動が行えるよう工夫を行った。

・寮内活動グループ

通所利用者を中心に個別活動を行った。主に高齢者、作業への参加が困難な利用者を対象に体力・健康維持・作業前訓練を目的とした。今年度は特に、けがや疾病により寮内活動グループの利用者が増加した。活動にリハビリやストレッチ等も追加した。

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、行事の中止、日中活動の制限が余儀なくされている。生活が単調になりがちのため、変化を与えられるよう日中活動の検討を行った。

(3) 文化活動

- ・茶道（年6回 講師：芹沢千代子氏、塩谷順子氏、江波戸芳子氏）

参加利用者の状況に合わせて楽しむ内容を重視する。

- ・陶芸（月1回 講師：小割祥嗣氏）

三園合同の活動に三名参加。完成した共同作品は愛護ギャラリー展で発表する。

- ・書道

職員が実施月によりテーマを提示し、利用者の感性にて自由に表現する。半紙だけではなく、色紙や大判半紙などにも挑戦し、今までにない作品に仕上がっている。作品は食堂や廊下に掲示し、また、作品展にて発表する。

- ・音楽（年7回）

「今月の歌」を利用者と一緒に決め、練習し、クリスマス会や納会で練習の成果を発表する。発表することを参加利用者も楽しみにしている。

- ・絵画、貼り絵

愛護ギャラリー展や富士宮市福祉作品展での発表を目指して取組み、クレヨン画は額に飾り、寮内に掲示した。

(4) 余暇活動

- ・DVD鑑賞会

プロジェクターや2階談話室のテレビを活用し実施。寄付のあったDVDの中から、利用者が興味のある映画やアニメを上映した。

- ・カラオケ

歌うことが好きな利用者を対象に実施し、外出しなくても利用者が寮内で楽しめるものとして取入れ、利用者の楽しみとなっている。

- ・希望外出

利用者が希望する外出（ドライブ、買物）を実施した。

- ・日帰り旅行

新型コロナウイルス感染症の影響で中止し奇石博物館の招待に参加した。

2. 健康管理

(1) 感染症対策

- ・例年通り、11月にインフルエンザ予防接種を実施した。幸いにもインフルエンザ罹患

者は確認されなかった。

- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金も活用し、感染予防に関する備品を購入した。
- ・定時の換気・消毒時間を設定し、感染症対策を行った。
- ・通所利用者と入所利用者が混在しないよう、可能な限り生活空間を分離した。
- ・新型コロナウイルス感染症が発生したことを想定し、対応訓練を行う。職員同士で意見を出し合い、対応方法を検討。
- ・外出、外泊を自粛していただき、希望があればリモート面会を行う。

(2) 日常の健康管理

- ・早期発見、早期通院を心掛けるよう、毎日の健康チェックを継続する。専門病院への通院機会も増加している。

3. サービスの質の向上

(1) 個別支援計画作成、モニタリング、個別面談を通して支援内容の共有、改善を行った。

- ・前期面談は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の時期だったため、書類を郵送し対応した。
- ・後期面談は、県内出身の利用者に限り、時間を短縮し実施。県外の利用者については前期同様、郵送にて対応。

(2) 生活支援員の専門知識や支援技術の向上を図るため、内部・外部を問わず各種研修への参加を積極的に行う。オンライン研修の機会が増えているため必要機材の購入を検討。

(3) 送迎専門職員の雇用を継続し、通所利用者の安全な送迎を確保した。

4. 施設整備

(1) 車椅子での移動ができるよう、福祉車両を導入した。利用者、職員の身体的負担軽減を図ることができた。

(2) 富士清心園改築工事において、設計者の選定を行う。静岡県、富士宮市へ相談し、「設計者選定委員会」にて、公正に選定を行った結果、富士宮市の株式会社アルファ設計に依頼することとなった。利用者、職員が安全快適に過ごすことができるよう設計者と協議を重ねる。

5. 業務委託

シダックスフードサービス株式会社と食事サービスの業務委託契約を継続する。情報の共有を行い、急な食事変更にも対応し質の高い食事提供に努めた。

(富士明成園)

1. 施設支援

(1) 勤務体制

①施設入所支援

- ・早番職員2名、遅番職員2名、夜勤職員3名体制を継続。職員間で連携し、困った際には勤務者間で情報を共有し利用者支援を行うことを重視した。
- ・利用者の救急搬送があり、その対応に苦慮した。緊急時の対応を周知した。
- ・利用者の通院件数が増加した。車椅子対応や行動障害等の利用者対応にて、マンツーマンの通院の必要性が高くなった。
- ・入所利用者現員45名 定員50名
- ・肺炎・がんで亡くなった利用者4名が退所し、新たに2名が入所利用となった。
- ・入所定員の1割が欠員であることから、令和3年度は定員を満たしたい。

②生活介護 人員配置体制加算Ⅱを取得。

- ・利用者2名に対し生活支援員1名を配置している。現状の職員配置にて、さらなるサービスの質の向上を図った。

(2) 日中活動

・療育グループ

重複障害・強度行動障害の利用者への体力づくり・個別活動により、利用者が落ち着いて取り組めるメニューを提供。継続的な活動が必要であるため、優先的に職員を配置するよう配慮した。午後に屋外歩行の時間を設け、療育グループ以外の利用者も含め行う。

・生き生きグループ

身体麻痺のある利用者へのリハビリ支援（フジヤマ病院リハビリ科への定期評価通院と個別メニューでの支援）高齢者中心に楽しめる体操、個別活動を実施。午前中にリハビリメニューが消化できない場合、午後の活動で対応した。活動を行う多目的ホール内に観葉植物等を置き楽しんだ。

・自活グループ

自立生活が困難な利用者にはビーズ、パズルなどの個別課題、寮内での歩行や体操、口腔体操を実施。創作活動でだんご絵（富士山と桜）を作成した。天候に応じて屋外歩行や外気浴を実施。

(3) その他の活動

・陶芸活動（毎月第三木曜日 講師：小割祥嗣氏）

利用者8名が参加し、土に触れる楽しさと作品を仕上げる喜びを体感した。愛護ギャラリー展に共同作品として干支をモチーフに「ねずみの夢」を出展し、銀賞（静岡県作業所連絡会・わ理事長賞）を受賞。

・音感療法（毎週火曜日 講師：梶田真弓氏）

利用者19名が参加し、音感療法の考えを基に問題となっている行動の軽減等利用者そ

それぞれの目的を明確にして実施。コミュニケーションが難しい利用者の音楽的感覚を養った。みんなで歌おう会（月1回）には20～30名参加。3月2日に音感発表会を実施。

・園芸活動

利用者11名が参加し、プランターを利用して、季節の花の寄せ植えを行った。利用者同士が楽しく参加できる雰囲気作りに心掛けた。

2. 健康管理

(1) 不調の訴えのできない利用者が多くいるため、バイタルチェック（検温、血圧測定等）を行い、普段と違う状況に気づいた場合は、医療機関への早期受診を行った。

(2) 感染症対策

- ・インフルエンザ予防接種を令和2年11月5日に実施。今年度、利用者にインフルエンザ罹患者はいなかった。
- ・新型コロナウイルス対策を行った。職員には基本的感染症対策を周知し、出退勤時の検温を継続した。施設内の換気消毒に努め、飛沫防止パネルを面会場所や会議室に設置。感染症発症を想定し、必要なパーテーションや折り畳みベッド等を購入。寮内、多目的活動棟でのゾーニングシュミレーションを行った。感染症用の備品が不足しないよう確保に努めた。

3. サービスの質の向上

(1) 静岡県福祉サービス第三者評価事業の受審（受審証令和2年11月9日発行）

評価機関：静岡県社会福祉協議会

実施期間：令和2年7月10日から令和3年1月19日

事業内容：①自己評価の実施（職員33名対象）

- ②利用者聞き取り調査→調査員3名にて入所利用者30名に聞き取り
- ③訪問調査：調査員3名にて、施設長他4名で対応
- ④評価委員における評価決定
- ⑤評価結果公表

自己評価を行ったことにより、改めて自分たちが行っている支援を振り返り、整理することができ、職員の意識を向上させる良い機会となった。受審結果において、判断の理由や根拠について具体的な回答があり、施設としての今後の指標となった。今後指摘のあった課題を確認し、改善に努める。

(2) 虐待防止への取組み

- ・権利擁護マニュアルを朝の打合せ時に唱和し、権利擁護に対する意識付けを行った。
- ・支援員の資質向上を目的とし、強度行動障害を伴う利用者に対しての支援内容の見直しを行った。
- ・虐待防止のチェックリストを用いて自己点検を実施した。
- ・日々の業務において支え合う職場環境づくりを目指しているが、その場で言い合える関係づくりやすぐに上司に報告をする等、組織として機能するよう努めた。

(3) 職員の資質向上委員会における自己評価を実施

- ・年2回（前・後期）業務内容チェック表を配布し、アンケートを実施。

(4) 内部研修の実施

- ・強度行動障害の支援の在り方について、事例検討会を実施。（10月20日実施）
- ・夜間帯での救急対応模擬訓練（AED含む）を新任職員中心に実施した。（5月13日）
- ・リハビリ体操について手順書を改定し、勉強会を行った。（6月10日）
- ・静岡県介護福祉士会主催介護技術出前講座「接遇」をオンラインで実施（2月22日）

4. 施設整備

- (1) 女子棟浴室に特殊浴槽を設置（介護福祉機器助成金申請）し、利用者が安心して入浴できる環境を整え、職員の介護負担の軽減にもつながった。
- (2) 二人部屋に間仕切りカーテンを設置、女子棟南側にレースカーテンを追加設置し、利用者居室の環境改善を行った。
- (3) 環境改善として、エアコン、ブラインドの修理、廊下仕切り戸の交換、女子棟談話コーナーの整備を行った。
- (4) 必要な介護用品を購入し利用者の生活の拡充を図った。

(第二種社会福祉事業)

障害福祉サービス事業

(サポートセンターあさひで)

利用者の「働きたい」という願いを一人ひとりに焦点を当てて、体験や経験の機会を提供する中で関連機関との連携を図り、安定した就労（一般就労・福祉的就労）の実現に取り組んだ。

1. 就労移行支援 定員6名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	49	20	61	52	59	56	74	78	73	74	64	86

- ・利用延べ人数 746名
 - ・収入額 合計 4,785,269円
- (2) 利用者の適性に合わせた個別支援計画の作成
- ・利用者の基本的な適性を図るために事業所内で下請け作業を行い、出勤状況、適性や課題の把握等基礎的な訓練を実施したうえで、企業見学・職場実習を実施
 - ・一般就労の実現
- (3) フォローアップの強化
- ・仕事を終了した後や休日に、日中一時支援の利用を可能とし、本人の状況把握や相談等を実施

2. 就労継続支援B型 定員14名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	198	130	319	314	306	296	324	324	317	319	293	348

- ・利用延べ人数 3,488名
 - ・収入額 合計 26,092,820円
- (2) 安定した生産活動の機会を提供するため、施設外就労と下請作業の支援を実施

①施設外就労

法人の清掃（プール清掃・ふれあい広場草取り、外トイレ清掃等）の受注を受け対応している。毎年度実施していた長谷川農園（農作業）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止した。

②下請作業

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前半は作業が減少した。企業によっては、3か月以上内職がなくなった企業もあった。企業開拓は厳しかったが、他の就労支援事業所を通じ作業を融通してもらい、現在も継続している。

仕事が途切れないよう、常に複数の業者と連絡を取り、納期に合わせて作業を行った。

③自主生産

- ・蜜蝋を原料とした製品作りを行い、商品化した（@500円）。新型コロナウイルス感染症の影響を受け販売機会が少なく、希望者に販売する。
- ・雑巾の作成については、法人内の販売のみにとどまっているが、タグに絵を描く工夫をして販路の拡充の可能性を探った。
- ・古紙回収については、法人敷地内に古紙回収ボックスを設置し、定期古紙回収場所の拡充と、アルミ缶回収を継続した。企業からの古紙回収量も昨年より増加し、収入もアップしている。

- (3) 令和2年度 平均工賃額 14,417円（前年度 13,974円）

4. 就労状況

サービス区分	就職先及び採用日
就労移行支援	医療法人社団鵬友会 フジヤマ病院 採用期間：令和2年4月1日～10月2日
	特別養護老人ホーム楓の丘 採用日：令和3年2月11日

5. 内職（施設外就労含む）取引先

サービス区分	企業名	作業内容
下請作業	富士大洋株式会社	段ボール折、ビニールカット
	株式会社坪野谷紙業富士工場	ポケットティッシュ各種
	サヌキ印刷株式会社 静岡支店 富士工場	箱折り（菓子、蒲鉾等）各種
	大協プラス株式会社	車部品（プラスチック製）バリ取り
	株式会社ミツワ	ポケットティッシュ
	渡邊商会	ポケットティッシュ
	株式会社フジマクロ	古紙・アルミ缶回収
	コアレックス信栄株式会社	古紙（古紙回収ボックス）
	有限会社エフビー産業	エアコン部品
	富士宮通運株式会社	化粧品箱折り
	富士宮ターポリン工業	緩衝材（紙）の折りと結束
	ライフサポートいずみ	車部品
	アイパックスイケタニ株式会社 西富士営業所	菓子の箱折り
	アイパックスイケタニ株式会社 山宮営業所	車部品の緩衝材・古紙回収
	富士宮市役所 （選挙管理委員・健康増進課）	ポケットティッシュ 各種 シトラスリボンキット作成
社会福祉法人富士旭学園	茶パック、牛乳・ヨーグルト配達	
施設外就労	社会福祉法人富士旭学園	各種清掃業務
その他	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社（セントラル）	法人内自販機
	社会福祉法人富士旭学園	法人行事粗品等準備

6. 関係機関との連携

ハローワーク・関係機関・企業等との連携に努め、特別支援学校や特別支援学級からの実習生を積極的に受入れ、卒業後の進路先としても受入れを行った。

7. 地域との関わり

事業所を地域福祉資源としてとらえ、利用方法等について検討し、事業所についての説明会は随時対応し、事業所を理解してもらうように努めた。

8. 防犯体制・防火体制の確立

- ①総合警備保障(株)による防犯体制
- ②プロパンガス発電機を導入

9. 個々の利用者のニーズに対応できる支援

(1) 文化活動（絵画・創作等）

愛護ギャラリー展、富士宮市福祉作品展、富士旭出学園作品展等へ出展

(2) 健康管理

- ①感染症予防マニュアルに則った、手洗い・うがいの習慣を励行
- ②在宅要介護者歯科保健支援プログラム
富士宮市保健センターにて年2回実施
- ③希望者へのインフルエンザ予防接種を実施

10. その他

富士宮市より「シトラスリボン活動」のシンボルであるシトラスリボンのキット作成依頼を受け、その活動の輪を広げるという趣旨で、富士宮市の中学生にキットを配布するプロジェクトに関わった。富士宮市障害福祉サービス事業所連絡会として仕事の依頼を受け、市内の就労支援事業所9か所で4,200個のキット作成を行った。

この活動の様子は、NHK静岡にて放送、静岡新聞、富士ニュース、富士宮市広報誌「創宮 So Good」の表紙にも掲載された。

(共同生活援助事業所 サニーヒル)

1. 利用者の状況

- (1) あわくらホーム 定員：男性6名
 - ・一般就労3名 福祉的就労2名 生活介護1名
- (2) 三園平ホーム 定員：女性5名（現員：4名）
 - ・一般就労2名 福祉的就労2名

2. 支援の状況

(1) 生活支援員の配置

生活支援員を配置することにより、日々利用者や世話人と対面することができ、問題の早期発見、早期解決ができた。また、生活支援員の勤務体制に、当直・早番・遅番を取入れることにより、夜間の利用者の状況を把握し、個別支援計画に反映することができた。

通院、食事注文、小遣い管理、帰省把握、相談事業所との連絡の業務を、生活支援員が担うことにより、急遽の変更に対応し迅速に対応を行うことができた。

(2) あわくらホーム

- ・世話人 3名
- ・勤務時間 6:30~9:30、16:00~19:00（1日の支援時間：6時間）
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染症対策備品を購入

(3) 三園平ホーム

- ・世話人 2名
- ・勤務時間 6:30~9:30、16:00~19:00（1日の支援時間：6時間）
- ・定員を満たすため、相談支援事業所の相談員に候補がいなか相談する。関係機関と連携し、利用者の充足に努める
- ・雨漏りがあり修繕を行う
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染症対策備品を購入

(4) 巡回

富士厚生園、富士清心園、富士明成園の生活支援員が交代で巡回を行った。

(5) 利用者の健康への配慮

- ・朝・夕の食材を業務委託し、栄養管理、食事量の配慮を業者と調整しながら行い、食費に見合う食事内容を検討
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出・外泊の自粛を行う。行動範囲の制限など、利用者の協力を得ながら実施

(6) その他

- ・各ホームで非常食の補充
- ・緊急時への備えとして、法人・施設の連絡先を各ホームへ掲示
- ・災害時及び緊急時に備え、総合警備保障と契約
- ・各地域の防災訓練に参加

(7) 利用者の交流

昨年度、利用者に好評であった日帰り旅行は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

(障害者短期入所事業)

居宅においてその介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間入所を必要とする障害者に対し入浴、排泄、食事等の介護や日常生活上の支援を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4月21日から23日間休業したが、利用中の方は他事業所の受入れが困難であったため利用を継続した。

1. 富士厚生園 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	33	33	16	25	13	23	9	20	11	5	5	8

② 利用のべ人数 合計 201名 (昨年度388名)

③ 収入額 市町 合計 1,663,535円 利用者 合計 146,620円

2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	0	0	23	22	22	19	20	45	35	13	22	26

② 利用のべ人数 合計 247名 (昨年度293名)

③ 収入額 市町 合計 1,559,643円 利用者 合計 172,006円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	0	0	0	6	20	6	7	8	31	44	29	38

② 利用のべ人数 合計 189名 (昨年度223名)

③ 収入額 市町 合計 2,037,357円 利用者 合計 174,132円

指定計画相談支援事業

(指定特定相談事業所 ふじあさひで)

1. サービス利用支援

(1) 障害福祉サービスの申請に係る障害者の心身の状況、環境、サービス利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービスの種類及び内容を記載した「サービス等利用計画(案)」を作成した。

→ 支給決定後に、支給決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成

(2) 計画作成実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和2年 4月	富士市 12件 富士河口湖町 1件 品川区 1件 杉並区 1件 練馬区 2件	17
6月	沼津市 1件	1
7月	富士宮市 6件 小山町 1件	7
10月	富士宮市 1件 中野区 1件	2
11月	富士宮市 1件	1
12月	富士宮市 1件 寒川町 1件	2

提供件数合計 30件

2. 継続サービス利用支援

(1) 支給決定の有効期間内において、当該者に係るサービス等利用計画が適当であるかどうか、指定された期間ごとに、「サービス等利用計画」の評価（モニタリング）を行った。

(2) モニタリング実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和2年 4月	港区 1件 富士市 4件 静岡市 7件 葉山町 1件	13
5月	富士宮市 2件 沼津市 5件 鎌倉市 2件 小田原市 1件 板橋区 2件	12
6月	富士宮市 57件 伊東市 1件 小山町 1件 都城市 1件	60
7月	世田谷区 1件	1
8月	富士宮市 1件 三島市 1件 焼津市 1件 伊豆市 1件 杉並区 1件	5
9月	富士宮市 3件 富士市 12件 牧之原市 1件 港区 1件 富士河口湖町 1件 品川区 1件 杉並区 1件 練馬区 1件	21
10月	富士宮市 1件 富士市 4件 静岡市 7件 葉山町 1件	13

11月	富士宮市 3件 沼津市 6件 静岡市 1件 小田原市 1件 鎌倉市 1件 板橋区 2件	14
12月	富士宮市 58件 伊東市 2件 伊豆市 1件 小山町 1件 都城市 1件	63
令和3年 1月	富士宮市 3件 伊豆市 1件 世田谷区 1件	5
2月	富士宮市 1件 三島市 1件 焼津市 1件 杉並区 1件	4
3月	富士宮市 4件 富士市 12件 牧之原市 1件 富士河口湖町 1件 中野区 1件 港区 1件 品川区 1件 杉並区 1件 練馬区 2件	24

提供件数合計 235件

<公益事業>

地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

日中における活動の場を確保し障害児(者)の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として支援を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4月21日から23日間休業した。

1. 富士厚生園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	13	6	26	23	24	22	19	25	19	21	16	23

② 利用のべ人数 合計 237名

③ 収入額 市町 合計 878,400円 利用者 合計 4,320円

2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	13	0	19	26	24	29	33	32	31	25	33	44

② 利用のべ人数 合計 309名

③ 収入額 市町 合計 1,197,000円 利用者 合計 88,560円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	1	0	4	10	9	8	5	8	13	11	7	7

② 利用のべ人数 合計 83名

③ 収入額 市町 合計 536,400円 利用者 合計 44,280円

4. サポートセンターあさひで 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	8	0	26	31	31	22	24	15	11	15	15	21

② 利用のべ人数 合計 219名

③ 収入額 市町 合計 449,400円 利用者 合計 0円

＜ 保守管理・業務委託一覧 ＞

業 者 名	契 約 内 容	頻 度
総合警備保障(株)	施設内機械警備	年間
シダックスフードサービス(株)	食事サービス業務	年間
東芝エレベータ(株)	エレベータ定期点検	1回/年
	遠隔監視メンテナンス	随時
合資会社 一光	合併浄化槽保守点検 (施設)	2～4回/月
	合併浄化槽保守点検 (和顔荘・屋外トイレ)	4回/年
(株)日立システムズ	パソコンソフト等保守及びバージョンアップ (財務会計・請求・給食業務・勤怠管理)	年間
静岡電話工業(株)	電話交換設備保守・点検	4回/年
(株)トモエ商会	非常用自家発電機保守点検	2回/年
一般財団法人 関東電気保安協会	電気設備保守・点検	年間
オブリック(株)	消防設備点検・行政報告	年間
(株)フジ環境サービス	防虫防鼠駆除	毎月
	全館消毒	2回/年
一般財団法人 静岡県生活科学検査センター (富士宮市水道協議会)	専用水道水質検査	毎月
一般財団法人 静岡県生活科学検査センター	浄化槽法第11条検査	1回/年
静銀ITソリューション(株)	利用料代金回収業務	毎月
サポートセンターあさひで	エアコン・屋外トイレ・プール清掃・環境整備	随時
(株)富士クリーンサービス	貯水槽清掃	1回/年
(株)アイ・ワークエンジニアリング	特殊建築物等定期調査・行政報告 (富士明成園)	1回/年
(株)アルファ設計	特殊建築物等定期調査・行政報告 (富士厚生園・富士清心園)	1回/年
(株)トーヨー	エアコン清掃 (富士厚生園 厨房)	1回/年
赤池造園(株)	芝刈り作業・芝生管理	6回(4～10月) 月1～2回
(有)カボスメディアワークス	ホームページ定期サポート	毎月
(株)ダスキン富士宮	エアコン清掃 (富士厚生園 居室)	1回/年

令和2年度 < 研修・会議等参加実績 (外部研修) >

年月日	研修名	主宰者	研修方法	参加職種	参加人数
4月	社会福祉法人 監事監査研修会	静岡県社会福祉法人 経営者協議会	オンライン形式	管理者 事務員他	8名
6月	社会福祉法人運営管理研修会 ～新型コロナウイルスの正しい理解と感染症から利用者、職員 を守るために、今できること～	静岡県社会福祉法人 経営者協議会	オンライン形式	生活支援員 事務員他	19名
	社会福祉施設等における感染症対策研修会	富士宮市保健福祉部 障がい療育支援課	対面式 富士宮市	生活支援員	2名
	社会保険基礎講座	一般財団法人 静岡県社会保険協会	動画配信	事務員	1名
7月	富士圏域自立支援協議会就労部会 第1回トップセミナー-WG及び第1回ジョブマッチングWG	静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課	対面式 富士市	サービス管理 責任者	1名
	就業支援基礎研修 (3日間)	独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構 静岡支部	対面式 静岡市	職業指導員	1名
8月	社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座	静岡県社会福祉法人 経営者協議会	動画配信	事務員	9名
9月	富士圏域自立支援協議会就労部会 第2回トップセミナー-WG及び第2回ジョブマッチングWG	静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課	対面式 富士市	サービス管理 責任者	1名
	富士宮市地域自立支援協議会 サービス管理責任者部会	富士宮市地域自立支援協議会	対面式 富士宮市	サービス管理 責任者	3名
	安全運転管理者等に対する法定講習会 (9月～10月 2日間)	富士宮地区安全運転管理協会	対面式 富士宮市	管理者	2名
10月	初任者研修	富士圏域社会福祉施設長会	対面式 富士市	管理者 生活支援員	7名
11月	フォローアップセミナー	静岡県社会福祉人材センター	対面式 沼津市	生活支援員	2名
	富士圏域自立支援協議会就労部会 第3回ジョブマッチングWG	静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課	対面式 富士市	サービス管理 責任者	1名
	富士圏域社会福祉施設長会研修 「感染症から利用者、職員を守るために」	富士圏域社会福祉施設長会	対面式 富士宮市	管理者 生活支援員	4名
	令和2年度静岡県サービス管理責任者等更新研修	静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課	対面式 静岡市	サービス管理 責任者	3名
12月	富士宮市地域自立支援協議会 権利擁護に関する研修会	富士宮市地域自立支援協議会	対面式 富士宮市	生活支援員	1名
	令和2年度障害児・者福祉サービス事業者説明会	静岡県健康福祉部福祉長寿局 福祉指導課	動画配信	サービス管理 責任者	5名
2月	パワーハラスメント防止研修	中央労働災害防止協会 健康快適推進部	オンライン形式	管理者 生活支援員他	16名
	介護技術出前講座「接遇」	一般社団法人 静岡県介護福祉士会	オンライン形式	管理者 生活支援員	16名
	施設長等研修会	静岡県知的障害者福祉協会	オンライン形式	管理者	3名
3月	社会福祉法人決算実務講座	静岡県社会福祉法人 経営者協議会	動画配信	事務員	9名
	公正採用選考人権啓発推進員研修	富士宮公共職業安定所	動画配信	理事長 管理者他	5名
	令和3年静岡県福祉職合同入職式	静岡県社会福祉人材センター	オンライン形式	令和3年度 採用職員	1名
	富士圏域社会福祉施設長会総会	富士圏域社会福祉施設長会	対面式 富士市	管理者	3名
	新型コロナウイルス感染症対策講座	静岡県社会福祉人材センター	オンライン形式	管理者	3名
	事務研修会 「社会福祉法人の今後の在り方について考える」	静岡県社会福祉法人 経営者協議会 東部地区経営協	オンライン形式	理事長 事務員	4名

令和2年度 < 研修・会議等参加実績 (内部研修) >

年月日	研修名	主宰者	研修方法	参加職種	参加人数
6月	リハビリ研修	富士明成園	対面式	生活支援員	9名
7月	令和2年度新任職員研修(2日間)	社会福祉法人富士旭出学園	対面式	全職種	11名
	安全運転講習	安全運転管理者	動画配信	全職種	全職員対象
8月	パワーハラスメントオンライン研修講座 ～職場のパワーハラスメントを考える～	社会福祉法人富士旭出学園	動画配信	全職種	全職員対象
9～10月	防護服講座	富士厚生園	対面式	生活支援員	29名
10月	事例検討会 ～強度行動障害の支援の 在り方について～	富士明成園	対面式	管理者 生活支援員	12名
12～1月	新型コロナウイルス感染症対策研修 福祉施設のための感染症クラスター対策	社会福祉法人富士旭出学園	動画配信	全職種	全職員対象

＜ 実習・ボランティア・講師の状況 ＞

1.実習生受入実績

学 校 名	内 容	日 数	受 入 人 数				合 計
			富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター あさひで	
静岡県立富士特別支援学校 (本校)	産業現場実習	1～10日		1名		6名	7名
静岡県立富士特別支援学校 (富士宮分校)	産業現場実習	3日				2名	2名
沼津情報・ビジネス専門学校	保育実習	10日		1名	1名		2名
静岡県立大学短期大学部	保育実習	12日	1名	1名	1名		3名
常葉大学	保育実習	8日	1名	1名	2名		4名
合 計			2名	4名	4名	8名	18名

2.ボランティア等受入実績

学 校 ・ 団 体 名	活 動 内 容
保護者有志	環境整備等

3.日中活動講師

講 師 名	活 動 内 容
小割祥嗣	文化活動（陶芸）
梶田真弓	文化活動（音楽）
一般社団法人 茶道裏千家淡交会 沼津支部	文化活動（茶道）

＜ 利用者状況 ＞

令和3年3月31日現在

1. 平均年齢

(単位：歳)

施設名	富士厚生園		富士清心園		富士明成園	あさひで	あわくらホーム	三園平ホーム	法人全体
	(入所)	(通所)	(入所)	(通所)	(入所)				
平均年齢	56.36	40.67	57.3	34.9	55.2	35.8	60.8	44	48.1
男性	54.17	42.38	56.6	30.2	54.8	38.0	60.8		48.1
女性	59.87	37.25	59.4	38.7	55.7	30.6		44	46.5

2. 男女別最年長者と最年少者の年齢

(最年少)

(単位：歳)

施設名	富士厚生園		富士清心園		富士明成園	あさひで	あわくらホーム	三園平ホーム	法人全体
	(入所)	(通所)	(入所)	(通所)	(入所)				
男性	23	31	29	19	19	20	44		19
女性	37	32	35	27	34	22		38	22

(最年長)

(単位：歳)

施設名	富士厚生園		富士清心園		富士明成園	あさひで	あわくらホーム	三園平ホーム	法人全体
	(入所)	(通所)	(入所)	(通所)	(入所)				
男性	82	74	79	47	84	49	79		84
女性	78	48	87	51	82	41		53	87

3. 男女別人数と比率

(単位：名・%)

施設名	富士厚生園				富士清心園				富士明成園		あさひで		あわくらホーム		三園平ホーム		法人全体	
	(入所)		(通所)		(入所)		(通所)		(入所)									
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	24	61.5	8	66.7	25	64	6	60	26	57.8	14	70	6	100			109	62.4
女性	15	38.5	4	33.3	14	36	4	40	19	42.2	6	30			4	100	66	37.6
合計	39	100	12	100	39	100	10	100	45	100	20	100	6	100	4	100	175	100

4. 障害支援区分と比率

(単位：名・%)

施設名	富士厚生園				富士清心園				富士明成園		法人全体	
	(入所)		(通所)		(入所)		(通所)		(入所)			
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
区分6	17	43.6	5	41.7	12	30.8	0	0.0	25	55.6	59	40.7
区分5	18	46.2	4	33.3	16	41.0	1	10.0	17	37.7	56	38.6
区分4	3	7.7	2	16.7	10	25.6	7	70.0	3	6.6	25	17.2
区分3	1	2.6	1	8.3	1	2.6	2	20.0	0	0.0	5	3.3
区分2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
区分1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	39	100	12	100	39	100	10	100	45	100	145	100

5.年齢

(単位：名・歳)

施設名(人数)	富士厚生園(39名)		富士清心園(39名)		富士明成園(45名)		合計	
年齢 性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18~20	0	0	0	0	1	0	1	0
21~25	1	0	0	0	0	0	1	0
26~30	3	0	2	0	1	0	6	0
31~35	0	0	1	1	1	1	2	2
36~40	0	2	0	2	0	2	0	6
41~45	2	1	1	0	2	1	5	2
46~50	2	1	3	1	4	2	9	4
51~55	4	2	5	1	5	6	14	9
56~60	0	1	3	1	3	1	6	3
61~65	7	2	4	4	3	0	14	6
66~70	4	1	2	1	2	2	8	4
71~75	0	4	2	1	2	3	4	8
76~80	0	1	2	1	1	0	3	2
81~	1	0	0	1	1	1	2	2
男女別人数	24	15	25	14	26	19	75	48
男女別平均年齢	54.2	59.9	56.7	58.1	54.8	55.7	55.2	57.9
全体平均年齢	56.4		57.2		55.1		56.6	
最年少者年齢	23	37	29	35	19	34	19	34
最年長者年齢	82	78	79	87	84	82	84	87

6.障害支援区分

(単位：名)

施設名(人数)	富士厚生園(39名)	富士清心園(39名)	富士明成園(45名)	合計
区分				
非該当	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0
区分3	1	1	0	2
区分4	3	10	3	16
区分5	18	16	17	51
区分6	17	12	25	54
平均区分	5.3	5.0	5.5	5.3

7. 保護者・成年後見人状況

(単位：名)

保護者	施設名(人数)	富士厚生園(39名)	富士清心園(39名)	富士明成園(45名)	合計
両親健在		7	5	11	23
片親		0	13	11	24
兄弟姉妹		9	16	17	42
甥・姪		1	0	0	1
叔父(伯父)・叔母(伯母)		0	1	2	3
いところ		0	2	1	3
不在		0	0	3	3
成年後見制度		22	13	14	49

8. 実施機関

(単位：名)

施設名(人数)		富士厚生園(39名)	富士清心園(39名)	富士明成園(45名)	合計
市・区・町					
静岡県	富士宮市	20	24	25	69
	富士市	2	5	9	16
	沼津市	2	0	3	5
	静岡市	2	2	4	8
	三島市	1	0	0	1
	伊東市	1	1	0	2
	伊豆市	1	1	0	2
	焼津市	0	1	0	1
	牧之原市	0	0	1	1
	小山町	0	0	1	1
東京都	品川区	0	1	0	1
	練馬区	0	2	0	2
	世田谷区	0	1	0	1
	渋谷区	1	0	0	1
	中野区	1	0	0	1
	杉並区	2	0	0	2
	板橋区	2	0	0	2
	港区	1	0	0	1
静岡県外	横浜市	0	0	0	0
	鎌倉市	1	0	0	1
	小田原市	0	1	0	1
	葉山町	0	0	1	1
	寒川町	1	0	0	1
	河口湖町	0	0	1	1
	都城市	1	0	0	1
合計	39	39	45	123	

9.入所期間

(単位：名)

施設名(人数)	富士厚生園						富士清心園						富士明成園			合計		
	(入所)			(通所)			(入所)			(通所)			(入所)					
期間 \ 性別	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
1年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	2	1	3
1～5	6	3	9	2	0	2	12	5	17	4	1	5	1	3	4	25	12	37
6～10	8	10	18	0	0	0	1	1	2	1	0	1	3	3	6	13	14	27
11～15	1	1	2	3	2	5	4	2	6	2	1	3	4	0	4	14	6	20
16～20	4	0	4	1	1	2	3	2	5	0	0	0	6	2	8	14	5	19
21～25	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	4
26～30	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	3	4	1	5
31～35	1	1	2	1	1	2	0	3	3	0	0	0	9	8	17	11	13	24
36～40	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
41年以上	1	0	1	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	4	1	5
合計	24	15	39	8	4	12	25	14	39	8	2	10	26	19	45	91	54	145

10.入所・退所状況

(単位：人)

状況	施設名	富士厚生園		富士清心園		富士明成園	あさひで	サニーヒル	合計
		(入所)	(通所)	(入所)	(通所)	(入所)			
令和2年度入所者		3	2	0	0	2	2	0	9
内 訳	通所または入所より	1	1	0	0	0	0	0	2
	在宅	2	1	0	0	2	1	0	6
	他施設より	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1
令和2年度退所者		2	2	1	1	4	1	0	11
内 訳	法人内施設入所へ	0	1	0	0	0	0	0	1
	入院	1	0	0	0	0	0	0	1
	死亡	0	0	1	0	4	0	0	5
	家庭へ	1	0	0	0	0	0	0	1
	就労	0	0	0	0	0	1	0	1
	他施設への異動	0	1	0	1	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
年度末利用者 合計		39	12	39	10	45	20	10	175

11.通院状況

(単位：回)

施設名(人数) 受診科	富士厚生園(39名)	富士清心園(39名)	富士明成園(45名)	合計
内科	230	112	171	513
外科	80	28	34	142
整形	12	9	12	33
眼科	28	2	9	39
耳鼻科	1	14	4	19
皮膚科	18	66	22	106
歯科	48	87	57	192
泌尿器科	55	39	62	156
精神科	98	85	80	263
脳外科	0	0	7	7
婦人科	2	0	3	5
救急センター	5	2	4	11
合計	577	444	465	1,486

12.身体疾患の状況

(単位：名)

施設名(人数) 疾患名	富士厚生園(39名)	富士清心園(39名)	富士明成園(45名)	合計
皮膚疾患	10	3	8	21
アレルギー性疾患	10	2	7	19
整形外科疾患	12	0	1	13
脳神経系疾患	4	0	3	7
眼科疾患	10	1	6	17
循環器系疾患	3	12	9	24
消化器系疾患	16	9	25	50
内科系疾患	2	0	14	16
代謝内分泌系疾患	14	4	12	30
血液系疾患	1	1	4	6
呼吸器系疾患	3	0	5	8
泌尿器系疾患	9	3	5	17
てんかん	21	9	15	45
自閉症及びその疑い	11	8	12	31
車椅子及び補装具	8	3	9	20
言語障害	0	0	5	5
身体障害	4	3	9	16
精神障害	9	11	14	34
視覚障害	3	0	1	4
聴覚障害	1	0	0	1
認知障害	1	1	0	2
合計	152	70	164	386

< 給食状況 >

富士厚生園・富士明成園での給食業務の他、富士清心園はシダックス㈱にて、法人栄養士の作成した同等の献立により業務委託を実施した。

食事の形態は個々のニーズに合わせ、常食・ココロ食・みじん食・ミキサー食の他、粥食や病態に応じた減塩食、油抜き食、繊維物抜き食、嗜好に合わせた代替え食の提供、通院による朝食、軽食の準備を行った。

行事食やお楽しみ給食を実施し、普段の献立と変化をもたせるように工夫した。利用者からのリクエストや人気の高いメニューを取り入れ、季節感のある食事を提供できるようにした。

1. 栄養管理

- ・嗜好調査 食事カルテを使用し、食事内容変更届に基づいてその都度変更
- ・残菜調査 毎食後実施
- ・食事摂取基準に応じた目標量(食品構成)を設定し、献立を作成

2. 給食部会議の実施

- ・給食部の現状報告について
- ・衛生管理について
- ・利用者の食事摂取状況について
- ・ミキサー食を食べていた利用者がムース食に変わったが反応はどうか(食事量、排泄等)

3. 食品衛生監視指導

本年度実施なし

4. 給食施設栄養指導

本年度実施なし

5. 衛生管理

項目	実施内容
水質検査	月1回実施 水質基準に適合
使用水(水道水)の点検	1日2回(使用前、使用后) 残留塩素の測定、色、濁り、臭い、異物の確認
食品管理	・業者納入時の時間、食品表面温度の測定、賞味期限、鮮度の確認 ・冷蔵庫・冷凍庫の温度確認 1日2回(朝・夕) ・加熱調理食品(中心温度)の温度測定、記録 ・放冷食品(中心温度)の温度測定、記録 ・中心温度計の校正(月1回) ・富士明成園へ配送した時間、状態の記録 ・支援員による検食及び検食簿の記入(毎食) ・検食・原材料の保管(専用冷凍庫にて2週間)
ゴキブリ・ネズミ対策	年12回巡回 業者委託により実施 全館消毒(業務終了後)
調理従事者	・衛生管理点検(毎日) ・検便(月1回)

6. 給食種類状況

①富士厚生園(入所利用者 39名、通所利用者 12名)

(単位:人)

主食		主食の盛りの調整		副食		療養食	
区分	人数	区分	人数	区分	人数	区分	人数
普通食	45	特小盛り(80g)	14	常食	29	減塩食	4
全粥	3	小盛り(130g)	13	ココロ食	10		
五分粥	0	普通盛り(180g)	20	小ココロ食	2		
ミキサー粥	3	大盛り(230g)	4	みじん食	6		
				みじんとろみ食	1		
				ミキサー食	3		
合計	51	合計	51	合計	51	合計	4

②富士清心園(入所利用者 39名、通所利用者 8名)

(単位:人)

主食		主食の盛りの調整		副食		療養食	
区分	人数	区分	人数	区分	人数	区分	人数
普通食	41	特小盛り(80g)	3	常食	30	減塩食	3
全粥	4	小盛り(130g)	8	ココロ食	10		
五分粥	0	普通盛り(180g)	29	小ココロ食	0		
ミキサー粥	2	大盛り(230g)	7	みじん食	5		
				みじんとろみ食	0		
				ミキサー食	2		
合計	47	合計	47	合計	47	合計	3

②富士明成園(入所利用者 45名)

(単位:人)

主食		主食の盛りの調整		副食		療養食	
区分	人数	区分	人数	区分	人数	区分	人数
普通食	36	特小盛り(80g)	9	常食	15	減塩食	1
全粥	9	小盛り(130g)	18	ココロ食	16		
五分粥	0	普通盛り(180g)	16	小ココロ食	5		
ミキサー粥	0	大盛り(230g)	2	みじん食	5		
				みじんとろみ食	4		
				ミキサー食	0		
合計	45	合計	45	合計	45	合計	1

期 日	行 事 名	献 立 内 容
4月10日	お花見弁当	筍ご飯、から揚げ、カニ入りシューマイ、厚焼き卵 ふきの煮物、さくら漬、桜花おはぎ
6月24日	お楽しみ献立	ガーリックライス、コロッケグラタン、あっさりサラダ パンプディング、コンソメスープ
7月21日	土用の丑の日	うなとろ丼、筑前煮、ほうれん草もやしお浸し、とろろ昆布汁
9月2日	総合防災訓練(非常食)	わかめご飯、鶏肉うま煮缶、豚汁
10月30日	福祉防災(非常食)	ひだまりパン、トマトのスープ、みかん缶、リッツ
10月31日	ハロウィン	ロコモコ風丼、コーンポタージュ、パンプキンババロア
12月18日	富士清心園 クリスマス	みぞれ丼、サンドイッチ、エビフライ、から揚げ ポテトサラダ、グラタン、お吸い物、フルーツ
12月23日	富士厚生園、富士明成園 クリスマス	グリルチキン、エビフライ、合鴨肉のバストラミ、野菜トマトグラタン、サラダ アンサンプルエッグ、野菜の三色テリーヌ、ブロッコリーツナ和え、ポテト クリームシチュー、パンケーキ、クロワッサン、いちご、りんごのコンポート
12月25日	クリスマス	ご飯、星のハンバーグ、ほうれん草ソテー、明太ポテトサラダ コンソメスープ、クリスマスカップデザート
12月31日	おおみそか(年越しそば)	天ぷらそば、お浸し、さつま芋レモン煮、ジョア
1月1日	お正月(おせち料理)	ご飯、えびの艶煮、伊達巻、若鶏二色巻、昆布巻き、黒豆 いもあん、やわらかかまぼこ、なます、味の花、すまし汁
2月14日	バレンタイン	ご飯、ハンバーグ、スパほうれん草ソテー コーンポタージュ、ガトーショコラ
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司、菜の花の辛子和え とろろ昆布汁、三色花ゼリー

令和2年度 事業報告附属明細書

事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書への記載はありません。